



お肌のこと

Q & A



～がんの治療と皮膚障害～

- ☒ 抗がん剤にはいろいろな副作用がありますが、そのひとつが皮膚障害です。



なぜ皮膚障害が起こるの？



皮膚障害が起こるメカニズムは明らかにされていません。そして、抗がん剤の種類によって皮膚障害の起こる原因さまざまです。



皮膚障害として現れる症状は？



- ・皮膚の乾燥
- ・色素沈着
- ・発心・紅斑
- ・手足症候群
- ・ざ瘡様皮疹 など



- ☒ 皮膚障害はかゆみや痛みなどの症状を起こします。さらに外見の変化がストレスになってしまうこともあります。

しかし、皮膚障害は早期に発見し、スキンケアによって感染や重症化を避けることができます。



チェック ☒

治療がはじまったらスキンケア

皮膚トラブルの悪化を予防するために、治療が始まったらスキンケアを始めましょう。

ス

キ

ン

ケ

ア

ポイント

1 清潔～皮膚を清潔に保つ～

- ・皮膚に刺激の少ない、弱酸性の石鹸をよく泡立てて、泡で包み込むようにやさしく毎日洗いましょう。
- ・石鹸成分はしっかり洗い流しましょう。
- ・水分はタオルで強くこすりすぎず、優しく押さえ拭きしましょう。
- ・お湯を使用する場合は、ぬるめのお湯を使いましょう。



2 保湿～肌の保湿でバリア機能を高める～

- ・保湿剤はアルコールを含まない低刺激のものを使用しましょう。
- ・こまめな保湿をこころがけましょう。



3 保護～外的刺激から肌を保護する～

- ・皮膚を傷つけないようにしましょう。
- ・手袋や靴下を履き、皮膚を保護しましょう。
- ・日焼け止め対策（日焼け止めクリーム・帽子・日傘）

チェック ☒

気になる症状があれば、医師や看護師、
薬剤師にぜひご相談を！！